



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月14日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9264 URL http://www.puequ.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 采女 信二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績（2020年9月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	1,700	29.0	52	-	52	-	34	-
2020年8月期第1四半期	1,317	9.7	△9	-	△4	-	△7	-

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 36百万円 (985.0%) 2020年8月期第1四半期 3百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	14.85	14.84
2020年8月期第1四半期	△3.44	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2020年8月期第1四半期は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	8,726	2,622	30.1
2020年8月期	8,649	2,579	29.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 2,622百万円 2020年8月期 2,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	-	0.00	-	38.00	38.00
2021年8月期	-	-	-	-	-
2021年8月期（予想）	-	0.00	-	38.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,589	7.9	298	35.8	291	14.1	182	△18.2	78.54

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年8月期1 Q	2,351,500株	2020年8月期	2,321,400株
2021年8月期1 Q	840株	2020年8月期	640株
2021年8月期1 Q	2,344,473株	2020年8月期1 Q	2,052,114株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染被害の拡大に伴う世界経済への影響などが懸念され、我が国においても引き続き景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、このような環境下で主に関東、関西を中心に営業訪問活動の制約を受けるなか、テレビ会議システムを積極的に活用した営業に切り替えるなど、効率化重視の展開を図ることで対応してまいりました。この他、前期から持越しとなっている防潮壁「シーウォール」の工事が進捗し経営成績に寄与したことなどにより、総じて経営成績は順調に推移しました。

これらの成果によって、全体の収益及び利益が伸長し、第1四半期連結累計期間においては上場来初めて、各段階利益（営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益）において黒字化を達成しました。

以上の結果、売上高1,700百万円（前年同期比29.0%増）、営業利益52百万円（前年同期は営業損失9百万円）、経常利益52百万円（前年同期は経常損失4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益34百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境・エネルギー事業)

前期から持越ししておりました防潮壁工事が進捗したことや、前期第2四半期末に子会社化した協立電機工業株式会社の経営成績も順調に推移しました。また、これらのことに加えて、オゾン装置の販売が伸びてきたことも寄与し経営成績は順調に推移しました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,036百万円（前年同期比66.5%増）、セグメント利益41百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

(動力・重機等事業)

船舶、プラント関連市場及び工作機械関連市場において、新規開拓を重点施策に挙げて営業推進中である一方、受注案件の計上時期が下半期に偏る傾向があったことから、総じて経営成績は低調な推移となりました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は568百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益32百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

(防災・安全事業)

コロナ禍において、病院や介護施設の消防設備需要の停滞が懸念されるものの、主要得意先からの受注は前年同期並みで推移しました。また、テレビ会議システムを営業展開に活用してきたことで病院、介護施設に対する訪問及び出張等による営業経費の低減化が図れたことや、製造コストの徹底した見直しにより利益率が上昇しました。

以上の結果、防災・安全事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は94百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益11百万円（前年同期比220.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間期末における総資産は8,726百万円（前連結会計年度末は8,649百万円）となり、76百万円増加しました。

流動資産は4,625百万円（前連結会計年度末は4,698百万円）となり、72百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が226百万円増加した一方、商品及び製品が66百万円、その他に含まれる前渡金が189百万円減少したことによるものであります。

固定資産は4,100百万円（前連結会計年度末は3,951百万円）となり、149百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物の増加16百万円、投資有価証券の増加49百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は6,103百万円（前連結会計年度末は6,070百万円）となり、33百万円増加しました。

流動負債は3,259百万円（前連結会計年度末は3,324百万円）となり、65百万円減少しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少45百万円、未払法人税等の減少53百万円等によるものであります。

固定負債は2,844百万円（前連結会計年度末は2,745百万円）となり、98百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加105百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,622百万円(前連結会計年度末は2,579百万円)となり、43百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が53百万円減少した一方、資本金が48百万円、資本剰余金が48百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月14日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました2021年8月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,250,258	2,312,356
受取手形及び売掛金	1,396,612	1,623,005
電子記録債権	143,404	108,683
商品及び製品	112,564	45,632
仕掛品	380,566	371,314
原材料及び貯蔵品	30,099	30,831
その他	393,828	143,013
貸倒引当金	△9,172	△9,452
流動資産合計	4,698,163	4,625,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	789,667	806,129
土地	1,996,853	1,996,853
その他（純額）	441,759	466,459
有形固定資産合計	3,228,281	3,269,442
無形固定資産		
のれん	7,606	7,388
その他	7,138	6,783
無形固定資産合計	14,744	14,172
投資その他の資産		
投資有価証券	203,703	253,344
その他	507,412	566,846
貸倒引当金	△2,939	△2,939
投資その他の資産合計	708,175	817,250
固定資産合計	3,951,201	4,100,865
資産合計	8,649,364	8,726,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	341,581	370,853
短期借入金	1,670,000	1,655,000
1年内返済予定の長期借入金	948,335	903,091
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	75,350	22,157
賞与引当金	24,557	61,582
その他	244,471	236,520
流動負債合計	3,324,295	3,259,206
固定負債		
長期借入金	2,451,037	2,556,068
役員退職慰労引当金	19,105	19,447
退職給付に係る負債	140,665	140,312
その他	135,133	128,294
固定負債合計	2,745,941	2,844,121
負債合計	6,070,236	6,103,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,013,297	1,061,670
資本剰余金	870,997	919,370
利益剰余金	709,595	656,227
自己株式	△138	△138
株主資本合計	2,593,752	2,637,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,647	△14,208
その他の包括利益累計額合計	△15,647	△14,208
新株予約権	1,023	—
純資産合計	2,579,128	2,622,921
負債純資産合計	8,649,364	8,726,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	1,317,909	1,700,086
売上原価	1,066,575	1,406,485
売上総利益	251,334	293,601
販売費及び一般管理費	260,483	241,233
営業利益又は営業損失(△)	△9,149	52,367
営業外収益		
受取利息	124	50
受取配当金	2,385	17
投資有価証券売却益	2,120	299
固定資産賃貸料	4,278	3,947
保険解約返戻金	238	312
その他	6,636	5,992
営業外収益合計	15,782	10,619
営業外費用		
支払利息	7,876	6,921
株式交付費	83	737
その他	3,124	2,456
営業外費用合計	11,084	10,116
経常利益又は経常損失(△)	△4,451	52,870
特別利益		
固定資産売却益	272	—
特別利益合計	272	—
特別損失		
固定資産除却損	13	0
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,191	52,870
法人税等	2,861	18,049
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,053	34,821
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,053	34,821

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,053	34,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,395	1,438
その他の包括利益合計	10,395	1,438
四半期包括利益	3,342	36,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,342	36,260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い新株式30,100株の発行を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ48,372千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が1,061,670千円、資本準備金が919,370千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	622,565	613,046	82,297	1,317,909	—	1,317,909
セグメント間の内部売上高 又は振替高	214	—	—	214	△214	—
計	622,779	613,046	82,297	1,318,124	△214	1,317,909
セグメント利益又は損失(△)	△21,865	39,291	3,556	20,982	△30,132	△9,149

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△160
全社費用※	△29,971
合計	△30,132

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,036,784	568,796	94,505	1,700,086	—	1,700,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	249	—	—	249	△249	—
計	1,037,033	568,796	94,505	1,700,335	△249	1,700,086
セグメント利益	41,614	32,338	11,407	85,361	△32,993	52,367

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△103
全社費用※	△32,889
合計	△32,993

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。